

こんにちは婦人会「さくら」です

弥生三月も後半になりました。暑さ寒さも彼岸までとはよくいったものですね。厳しい寒さから一気に春らしい陽気になり、梅の花が咲き、我が家の庭にも春の花たちがようやく咲いてくれました。また例年にない暑さに、深代池の桜がいつもより早く開花して早くも満開となり、今を盛りと咲き誇っています。「梅の花、咲きて散りなば、桜花、継ぎて咲くべく、なりにてあらずや」（万葉集より）まさに今頃を読んだ歌ですね。お花見の時期は花冷えすることが多いので、お体に気を付けてお過ごしください。

～婦人会・暮らしのエッセンス～

百花に先駆けていち早く蕾をほころばせる花が「梅」である。別名「春告げ草」とも呼ばれる。今月は梅の話題もひとつ。熱田神宮にある梅の木は、高さ3mほどの八重咲き種。享祿古図（室町時代の境内を描いた図）にも描かれている奇木で、花は咲けども一度も実を付けたことがないことから「ならずの梅」と呼ばれています。「ひんやれ、宮の熱田のならずの梅はやれよいとやれよいと花は咲けども実はならん、しょんがゑ・・ノ」などとさかんに謡われたようである。（安永、天明頃の俗謡）（インターネット引用）



熱田神宮のならずの梅
（インターネット引用）

桜台婦人会「さくら」
平成25年3月25日
第134号